

くすのき 2017 第3号 親和女子高等学校 進路指導部通信 高3版

夏の面談時に第1志望群を相談・決定しよう！

夏休みには三者面談を実施します。そこでは、これまでの定期考査や模試の結果をもとに、第1志望校、おさえになる大学について決定することになります。そのときには、下の①～④についての確認することになるので、あらかじめ保護者と相談しておきましょう。

- ①国公立大学または私立大学のどちらを第1志望校にするのか。
- ②自宅から通うのか、下宿してもよいのか。
- ③センター試験を受験するか。受験教科・科目のパターンはどうするか。

(地理歴史・公民の科目と理科②の科目数は出願時に記入するので8月中旬に決定しておいてください。)

- ④定員の多い一般入試から受験するか。それとも受験機会の1つと考えて公募制推薦入試やAO入試を利用するか。→志望理由書や自己推薦文が必要な場合は夏休みに準備しておく。

指定校推薦入試の意思があるのか。(今年度の依頼校については9月5日(火)の7限に伝えます。)

	国公立大学	私立大学
9月	<4日センター出願説明会> センター出願(学校から)	私立大学AO入試
10月		
11月	国公立大AO・推薦	私立大学推薦入試
12月	<センター入試受験説明会>	
1月	13日・14日センター試験 <センター試験自己採点>	
2月	国公立大AO・推薦 25日国公立前期日程	私立大学一般入試・センター方式
3月	8日公立日程 12日国公立後期日程	私立大学後期日程

夏休みの学習について

まずは手もとにある定期考査、6月の模試、7月の模試の復習をし、不得意科目、分野の克服を目指してください。三者面談で志望校が決定すれば、大学毎の入試教科や配点に応じた学習になります。

国公立大学の場合は、センター重視なのか、個別重視なのかで取り組む内容や問題集は変わってきます。とくに難関大学を志望する場合、個別試験の配点が大きくなりますので記述力をしっかりとつけることを目指してください。小論文が課される場合は、夏休み中に解いて添削を受けておきましょう。最近国公立大学の推薦入試、AO入試の定員が拡大しています。いずれも志望理由書や面接の準備のために、志望動機や目指す将来像や職業観などについて自分の考えをしっかりとまとめるのに時間がかかります。受験機会の1つとして考える場合は、推薦・AO入試用のノートをつくって、志望大学の研究の特色や自分の考えをまとめて準備しておくことが必要です。

私立大学の場合は、具体的に赤本などの過去問を解いて出題傾向を知ることが大切です。一般入試においても全学部日程や個別日程など複数の受験方式があっても、基本的には出題パターンは同じです。文系で75%、理系で65%程度が合格最低ラインです。今の段階で届いていなくとも、教科毎の具体的な克服分野や学習到達度の設定ができるので3年分は解くようにしてください。

センター試験の受験について

進路説明会でも伝えましたが、センター試験を受験することで様々な受験校の幅を広げることになります。科目を絞っても受験することも可能ですが、教科間で平均点の上下があるので、5教科すべてを受験することを薦めます。昨年であれば、国語が難化したため、文系で英・国・社のみで受けた人の平均点を下げました。一方、数学や理科基礎の平均点が上がったため、5教科型の平均点は上がり、そういった受験生は国公立大学でも神戸市外国語大学など4教科に絞って出願できるアラカルト方式で有利になりました。

①5教科8科目（文系）、5教科7科目（理系）の900点満点でのおよその得点率

- 90% 東京大学, 京都大学, 医学部医学科
- 80%~90% 大阪大学, 神戸大学, 神戸市外国語大学
- 75%~80% 大阪市立大学, 大阪府立大学, 奈良女子大学, 京都府立大学
- 70%~75% 大阪教育大学, 兵庫県立大学, 滋賀大学, 和歌山大学
- 60%~70% 徳島大学, 鳥取大学

②私立大学では、3教科型, 4教科型, 5教科型など得意教科を絞って出願できます。

③センター試験を受験しておけば、神戸親和女子大学の3月初めにある学園内センター方式(併願方式)に出願できます。

この試験は、国公立大や私大の3月入試の受験ができる併願方式です。現役合格の押さえとして出願できます。

私立大学一般入試の全学部日程入試ってナニ？

全学部日程というのは私立の総合大学で行なわれる入試制度です。

入試	内容
全学部日程入試	全学部・学科が同一問題で、同一日に一斉に行う試験です。なかには、2日間で文系学部、理系学部で分けて行う大学もあります。また1回の受験で複数学部の合否判定をする大学もあります
個別学部日程	学部学科ごとに試験日が異なります。

全学部日程は「一日で複数の学部の中から好きな学部を選ぶことができる」日程、個別学部日程は「日によって学部学科が決まっている」日程といえます。日程によって募集定員や配点、科目が多少違う場合があるので、秋以降には、他大学の日程や自分の得意科目を活かした受験計画を立てることになります。

例として、平成30年度入試での関西学院大学の一般入試の日程をあげると次のようになっています。関学独自方式というのはセンター試験の結果と個別試験の結果を組み合わせたり、英語・数学の個別試験であったり学部によって違いますので入試ガイドやホームページで確認してください。

	全学日程		学部個別日程		2/5(月)	学部個別日程	
	2/1(木)	2/2(金)	2/3(土)	2/4(日)		2/6(火)	2/7(水)
神学部		3科目型			関 学 独 自 方 式	3科目型	
文学部	3科目型		3科目型				
社会学部		3科目型					3科目型
法学部	3科目型						3科目型
経済学部	3科目型 (理系型)	3科目型	3科目型 (理系型)	3科目型			
商学部	3科目型					3科目型	
人間福祉学部	3科目型			英・国型			
国際学部	英1科目型 (英・英型)	3科目型		3科目型		3科目型	
教育学部	3科目型 (理系型)	3科目型	3科目型 (理系型)			3科目型	
総合政策学部	3科目型 (理系型)	3科目型	3科目型 (理系型)	3科目型		3科目型	
理工学部	3科目型		3科目型				

* 全学日程は同一日、同一試験問題で英語、国語、地歴は全問マークセンス方式、数学、理科は全問記述方式

調査書の発行について

調査書は出願時に必要となる書類です。原則として1回の出願で1通必要となるものです。なかには複数ある受験方式で1通のみで出願できる場合があります。発行・出願手順は以下の通りです。

- ①受験台帳に記入 ②担任が発行 ③受け取って出願

AO入試や推薦入試では受験届、受験願を①の前に提出し、受理した後に①、②、③となります。

志望理由書について

志望理由書を必要とするAO・推薦入試からの受験を考えているのであれば、担任にその旨を伝え、夏休み中に一度は字数など細かいことを気にせず、書いてみてください。書いたものをできるだけ担任や担当教諭にみてもらい、チェックを受けてください。

<志望理由書・面接・小論文について>

1. 志望理由書・自己推薦書

(1) なぜ、学科試験以外に、志望理由書・面接・小論文を課すのか。

たとえば、医学部医学科、看護学科、教育学部に入学することは、将来、医者、看護師、教師などそれぞれの職業になることに直結している。そのことから入試のなかに、志望理由書・面接・小論文などを採り入れ、学科試験では測れない能力、職業適性・資質と熱意・意欲をみたいと考えている。

職業適性・資質としては

- ①冷静な判断力 ②高い技術力 ③深い学識・専門性 ④倫理観 … など

大学側は、最初から受験生に、完璧な職業適性・資質を求めてはいない。それらの不足を自覚し、改善の努力をしていく熱意・意欲をもった、大学に入ってからの期待感が持てる受験生を欲しいと思っている。

(2) 「何のために、誰が読むのか」

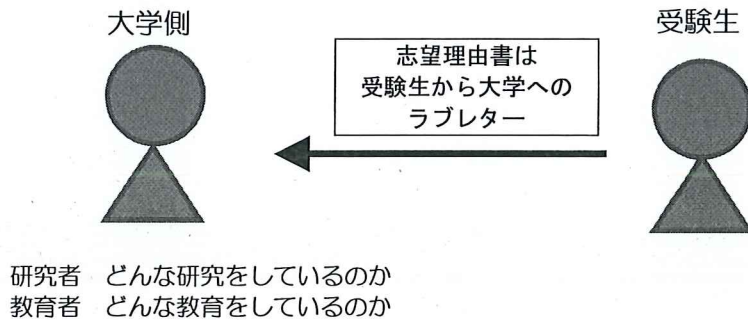
- ・新書など専門の入門書（ジャーナリストではなく、それぞれの職業従事者が著者のもの）を読んでおく。
- ・志望校のHPやリーフレット、オープンキャンパスを通して研究内容を知っておく。

(3) 「何のために受験するのか」

- ・将来像（社会にどのように貢献するか）をしっかりと述べる。
- ・大学に入って、どうしたいか、何をを目指すのかを述べる。
- ・将来像から遡って、現在や過去に触れる。
- ・試験官に、「で、どうしたいの?」といわれたらその時点で終わり。

(4) 自分自身がどのように相応しいのか、志望理由と関連付ける。

(5) 作成手順



①しっかりと準備をする。(ルーズリーフなどではなく、ノートで準備をする)

充実した準備作業が、価値のある出来上りを約束する。書類に書くことができるのは、準備したもののごく一部である。志望理由書・自己推薦書は面接等の材料として使用されることを視野に入れる。

<大学に関して>

要項、HP、オープンキャンパスなどで大学・学部・学科・研究内容などに特長を把握する。その大学・学部・学科・研究内容などに必然性がなければ理由にならない。

<自分に関して>

1) 志望理由は、志望の三時制を考えて情報を整理する。特に将来・未来を中心にし、逆算する形で、現在、過去を評価することで、志望する理由に一貫性がでる。自分は将来、どのような段階で、どのような環境で、どのような職業人として、どのように社会貢献していくのかを明確にしておく。

2) 自分の性格や特徴は、長所だけでなく短所もとらえる。他人との違いを意識するあまりいたずらに特殊さに特化した整理になってはいけない。

<地域に関して>

自分が生まれ育った地元以外の大学（特に地域枠）を志望する場合は、その地域におかれている現状についても知っておく必要がある。医学部の場合は医療状況などを押さえておく。

②いったん下書きをする。

字数などを気にせず、一度形にしてみる。細かい調整はリライトの段階でできる。

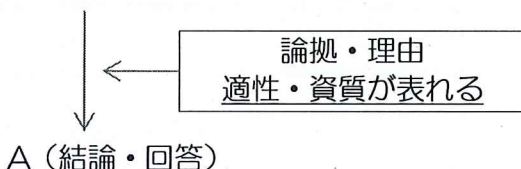
③リライト（調整・点検）をする。

- ・形式面での不備はないか。（誤字脱字、常態敬体の不統一）
- ・内容に重複はないか。
- ・内容に一貫性あるか。
- ・内容に説得力、必然性があるか。
- ・指示された内容があれば、それに対応した内容があるか。
- ・志望理由書・自己推薦書に完成はないので、時間の許す限り推敲する。

④清書をする。

2. 小論文・面接で何が尋ねられるか。

Q（課題・質問）



(1) 小論文 将来、その職業を目指すものとして自分の考えを論述する。

- ①英文の論文型（科学論文や雑誌からの抜粋）
- ②少子高齢化社会、環境問題などの社会問題を取り扱った文章

(2) 面接

志望理由・自己アピール + 学部学科に関する質問 + 社会全般に関する質問

3. 小論文の作成に関する技術的な側面

普段から研究者やその職業従事者の本を読んでおく。ジャーナリストの書いたものは二者択一のものも多く、避けたい。

(1) 文章資料型小論文

- ①試験時間の目安 100字/10分 600字/60分
- ②設問があれば資料を読む前にみしておく。
- ③要旨要約は全体の3割程度。たとえば、600字×0.3=180字
資料文上にアンダーラインを引きながら作成する。（資料文が1行何文字か数えておくと引くときの目安になる）
- ④先に、結論を1～2文でつくっておく。
 - ・AかBだけでなく、AもBもという結論もOK（原則はAだ。ただしBも忘れてはいけない。）
 - ・例外やはじかれていることに気付くことも大切。
 - ・資料文の結果に引きずられない。

⑤結論に対して論証する。

資料文の評価+論拠+例証（かなり難しいが）

(2) テーマ型小論文

- ①定義や論点を挙げる。
- ②問題点を焦点化し、自分の考えを述べる。

(3) 図表型小論文

- ①データから読み取れることを挙げる。
変化していることに目を向けがちだが、無変化のデータを見落とさないようにする。
- ②そこから自分の考えを述べる。

高校3年 進路関係行事予定

- 8月13日（日）第2回全統マーク模試
 - 8月14日（月）ベネッセ総合学力記述模試7月データリリース
 - 9月3日（日）第3回全統記述模試
 - 9月4日（月）センター試験出願説明会 15:30～ 講堂
 - 9月5日（火）推薦入試説明会 7限 講堂
 - 9月15日（金）16日（土）ベネッセ駿台第1回マーク模試
- <保護者の方々にも手渡して読んでいただきましょう>

くすのき2017など進路指導部が発信する情報を親和女子高等学校のHPで閲覧できます。

ホームページアドレス <http://www.kobe-shinwa.ed.jp/>